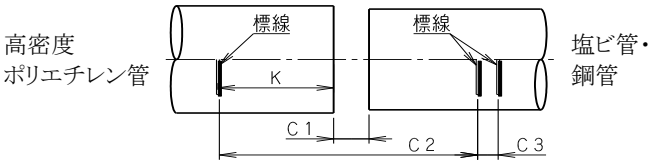
スッポンMPX-MP-V（塩ビ管・鋼管用）
（SDR－11・SDR－13．6）50～200 施工手順

接合管 ： 高密度ポリエチレン管 × 塩ビ管・鋼管

⚠ 注意	・ストップリング内面は素手で触ると危険ですので十分注意をして下さい。 **・必ず施工手順を守り、施工して下さい。** **施工手順を守らない場合、漏水等事故の危険性があります。** **・パイプが偏平して適用管外径より大きくなっている場合は、補正してから挿入して下さい。** **・ＭＰＸ受口側において、手順とは違い、ストップリングを先に本締めした場合、** **締付トルクが高くなります。**

① パイプ挿入量記入

・高密度ポリエチレン管に挿入量（K寸）を記入して下さい。
・塩ビ管・鋼管にK寸を基準として標線（Ｃ２，Ｃ３）を記入して下さい。
※Ｃ１は施工完了後の面間寸法の目安です。
※パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
※滑剤の塗布は不要です。



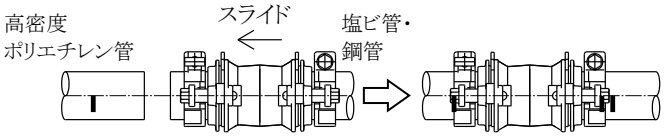
□Ｋ寸およびＣ寸表

呼び径	K（mm）	C（mm）		
		Ｃ１	Ｃ２	Ｃ３
50	100 $^{+5}_{-0}$	**20**～15	**240**	**25**
75	105 $^{+5}_{-0}$	**20**～15	**265**	**25**
100	140 $^{+5}_{-0}$	**20**～15	**305**	**25**
150	165 $^{+5}_{-0}$	**25**～20	**340**	**30**
200	205 $^{+5}_{-0}$	**25**～20	**415**	**30**

※**太字**：基準値

② 継手挿入

・塩ビ管・鋼管側に**継手をあずけて下さい。**
・高密度ポリエチレン管の標線まで**スライドさせて下さい。**

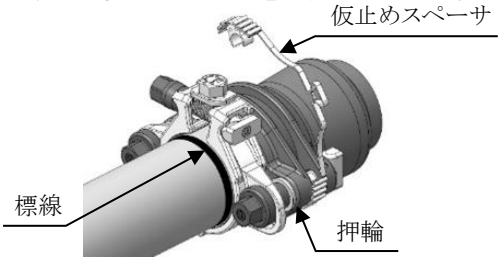


ＭＰＸ受口の施工

（高密度ポリエチレン管側施工）

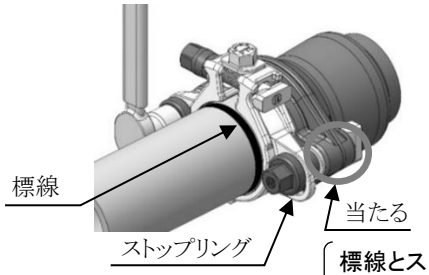
③ 仮止めスペーサ取り外し

・ストップリングは押輪と接した状態で標線と合わせ、ＭＰＸ受口の**仮止めスペーサを取り外して下さい。**



④ 押輪本締め

・ストップリングは押輪と接した状態で標線と合わせ、押輪締付ナットを**押輪が本体に当たるまで**数回にわたり**均等に本締め**して下さい。



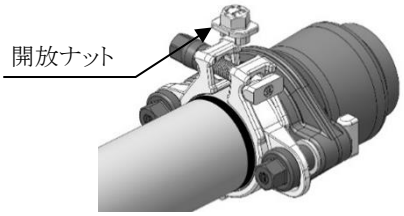
標線とストップリングのズレ
許容寸法 ： 10mm程度

呼び径	ボルトサイズ（参考締付トルク［N･m］）
50	M16（35～45）
75	M16（30～40）
100	M16（30～40）
150	M20（35～45）
200	M24（50～70）

低温時は締付トルクが高くなります。

⑤ 開放ナット取り外し

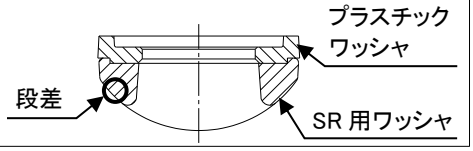
・開放ナットを取り外します。
・開放ナットの外し方は、開放ナットを「S」の方向（左回り）に回して取り外して下さい。



⑥ ストップリング仮締め

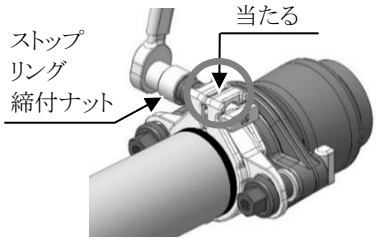
・ストップリングを管に対して垂直になる状態で、ストップリングのガタツキがなくなるまで手締めして下さい。

呼び径 100～200 は **SR 用ワッシャとプラスチックワッシャの段差がきちんとはまっていることを確認**して下さい。



⑦ ストップリング本締め

・ストップリング先端が当たるまで締付ナットを**本締め**して下さい。
※早く締め付けるとトルクが高くなります。
（1ストローク１秒程度が目安）



呼び径	ボルトサイズ（参考締付トルク［N･m］）
50	M16（25～ 45）
75	M16（25～ 45）
100	M16（40～ 60）
150	M20（70～ 90）
200	M24（80～100）

㈱川西水道機器
TEL：087-805-0001（施工コールセンター）

2022.03.31

標線位置
K寸メジャー
5 10 15 20 [cm] 25 （管端側） 28

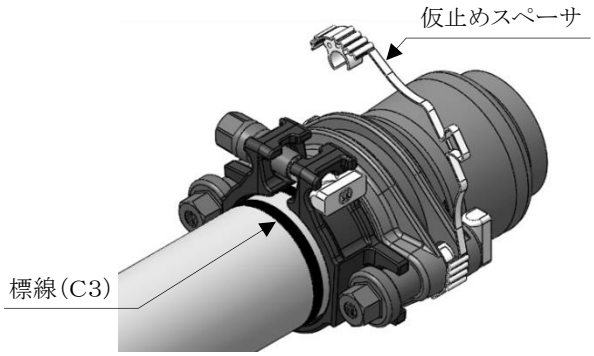
ＭＶ受口の施工（塩ビ管･鋼管施工）

⑧ 仮止めスペーサ取り外し

・ストップリングが押輪に接した状態で、ストップリングが**標線（Ｃ２・Ｃ３）の間**になっているか確認してください。

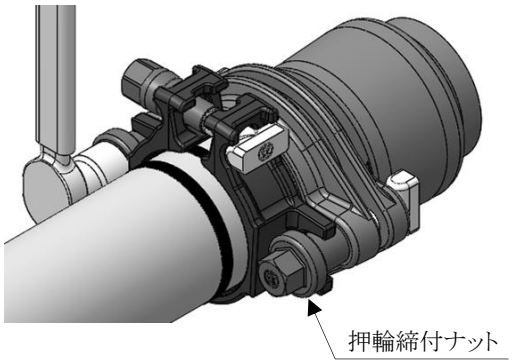
※Ｃ２の標線が見える場合は、挿入量不足になります。

・仮止めスペーサを取り外して下さい。



⑨ 押輪本締め

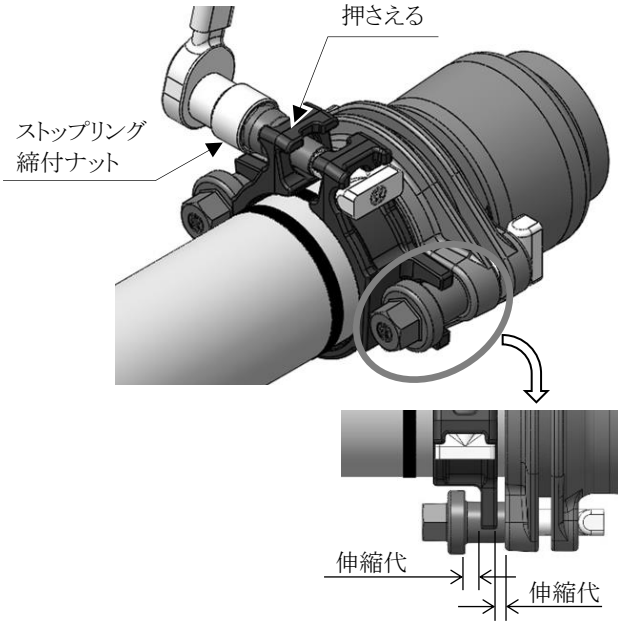
・押輪締付ナットを数回にわたり**均等に本締め**して下さい。（標準締付トルク表参照）



⑩ ストップリング仮締め

・ストップリングを**伸縮代の中心に合わせて**下さい。

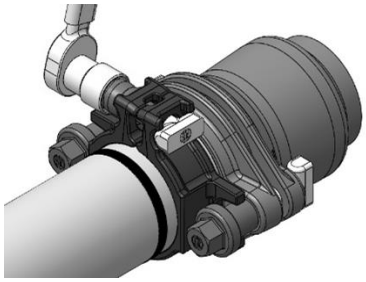
・パイプとのガタツキが無くなるまで**ストップリング上部を押さえながら**ストップリング締付ナットを締め付けて下さい。



⑪ ストップリング本締め

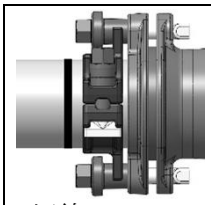
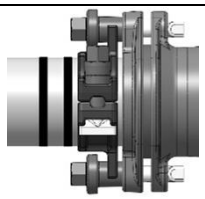
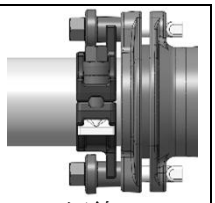
・ストップリング締付ナットを**本締め**して下さい。（標準締付トルク表参照）

※鋼管（ＳＧＰ）の場合、ストップリング先端は当たりません。

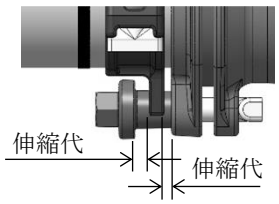


⑫ 接合完了

・ストップリングの端面が**標線（Ｃ２，Ｃ３）の間になっていること**を確認して下さい。

 標線Ｃ３のみ見える	 標線Ｃ２,Ｃ３が見える	 標線は見えない
○　良い例	×　悪い例	

・**両端に伸縮代があること**を確認して下さい。



≪参考≫

MV受口は、ストップリング本締め(⑩･⑪)の後に押輪本締め(⑨)をすることも可能です。その際、ストップリングの位置は押輪に接した状態で締め付けて下さい。

□標準締付トルク表

呼び径	押輪		
	標準締付トルク［N･m］		ボルトサイズ
	VP	SGP	
50	35～ **40**～ 60	35～ **40**～ 60	M16
75	35～ **40**～ 60	35～ **40**～ 60	M16
100	40～ **50**～ 60	40～ **50**～ 60	M16
150	40～ **60**～ 70	40～ **70**～ 80	M16
200	85～**100**～120	85～**100**～120	M20

※**太字**：基準値

呼び径	ストップリング			
	標準締付トルク［N･m］			ボルトサイズ
	VP		SGP	
50	**ストップリング先端が当たるまで締めて下さい**	40(参考)	**50**～ 70	M16
75		40(参考)	**50**～ 70	M16
100		50(参考)	**60**～ 80	M16
150		60(参考)	**80**～100	M16
200		100(参考)	**150**～170	M20

※**太字**：下限値

※塩ビ管（VU･VT･VH）接続につきましてはお問い合わせ下さい。

㈱川西水道機器
TEL：087-805-0001（施工コールセンター）

2022.03.31